

# 2023～2025年度 中期経営計画の進捗

## コンセプト・ありたい姿



「信託の力」で、次の100年を切り開く

～フィデューシャリーとしてステークホルダーから信頼され、  
全ての人のWell-being向上に貢献～

## 振り返り

2024年度は、成長戦略と外部環境の変化が合致し、親会社株主純利益、自己資本ROEなどの主要な経営指標、ならびに3年間で1,500億円（取得原価）の政策保有株式削減目標を、1年前倒しで達成しました。また、子会社の整理・統合と成長領域への資本投入を行い、事業ポートフォリオの強化が進展しました。株主還元は、2024年度1株当たり配当金155円と、2023年度比45円の増配となりました（記念配当含む）。

## 主要経営指標

指標	2023年度（実績値）	2024年度（実績値）	2025年度（予想）	2025年度（当初目標）	2030年度（ありたい姿）
実質業務粗利益	8,741億円	9,342億円	9,750億円	9,200億円	1兆円以上
実質業務純益	3,386億円	3,620億円	3,700億円	3,550億円	4,000億円以上
親会社株主純利益	791億円	2,576億円	2,800億円	2,400億円	3,000億円以上
手数料収益比率	54%	54%	50%台前半	50%台半ば	60%以上
経費率（OHR）	61%	61%	62%	60%台前半	50%台後半
自己資本ROE	2.68%	8.3%	8%台後半	8%以上	10%以上
AUF	約580兆円	約640兆円	約650兆円	600兆円	800兆円
普通株式等Tier1比率※	10.2%	10.6%	10%台半ば	9.5～10%程度	安定的に10%以上

※パーゼルIII最終化完全実施ベース

## 2025年度 重点テーマ

### I 事業ポートフォリオの強化

- 資本の効率活用の観点から、当グループ自身のキャピタルリサイクルを推進
- 未来に適合する事業ポートフォリオへと転換を図る

### II ステークホルダーとの長期信頼関係の構築

- 企業価値向上への取り組みのアカウンタビリティを高め、各ステークホルダーとの良質な対話を通じて、将来世代を見据えた長期信頼関係を構築

インパクト

財務

マテリアリティ

ガバナンス・経営基盤

主要戦略	概要	進捗
<b>テーマ1. 信託グループらしいビジネスの成長と資本効率の向上</b> （資金・資産・資本の好循環の実現と企業価値の向上）		
価値創造領域への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生100年時代</li> <li>ESG/サステナブル経営</li> <li>地域エコシステム・グローバルインベストメントチェーン（ネットワーキング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新型金銭信託＜フューチャートラスト＞」の取り扱いを開始</li> <li>国内総合型インフラファンド第1号をクローズ、第2号ファンドの組成を検討</li> </ul>
資産運用・資産管理ビジネス戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ各社の強みを融合し、独自のソリューションを提供</li> <li>資産管理では、スケール拡大、プラットフォームビジネス構築を企図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GCM Grosvenor、Tikehau Capitalへの出資</li> <li>大和証券グループと業務提携</li> <li>京急電鉄との私募REIT組成推進</li> <li>プライベートアセットの一部機能集約</li> </ul>
DX戦略（信託×DX）	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル活用により、顧客基盤の拡大や市場の創出を図るとともに、信託グループとしてのノウハウを標準化、高品質なサービスを提供</li> <li>グループのデジタル化推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上を進める三井住友信託銀行の全社プロジェクト「FutureX」を立ち上げ</li> <li>組織体制の強化、AIポリシーの策定</li> <li>株主サポートをリソース</li> </ul>
財務資本戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託グループらしいビジネスモデルの推進により2030年度までにROE10%以上、AUF800兆円以上の達成を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な経営指標を1年前倒しで達成</li> <li>2025年度も増益・増配基調を維持</li> </ul>
非財務		
<b>テーマ2. 未来適合に向けた人的資本強化（働きがいWell-beingにつながる組織創り）</b>		
人的資本戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員のWell-beingを基軸とした人的資本の強化</li> <li>個々の持ち味を尊重し、公平・公正（エクイティ）にインクルージョンする企業風土を醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度より新人事制度の運営を開始</li> <li>タレントマネジメントシステムの導入を予定</li> </ul>
<b>テーマ3. 経営基盤の高度化（ビジネスと組織のトランスフォーメーションを支える力）</b>		
フィデューシャリー戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまの最善の利益を不断に追求</li> <li>「信任関係」に基づく堅確な業務運営と万全な管理態勢の高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元社員によるインサイダー取引事案発生を受け、役員・社員教育の再徹底、牽制的施策を強化、インサイダー情報の管理徹底等を推進することで内部管理体制を一層強化</li> </ul>
業務インフラ・ファシリティ戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい働き方」へのアップデート</li> <li>レジリエンス発揮のため、BCPやセキュリティ統制を強化、拠点や業務を分散</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発体制の抜本的見直しを実施</li> <li>新しい働き方の実現に向けた各種施策を推進</li> <li>会議体運営を効率化</li> </ul>
ブランディング戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業100年を社員一人ひとりが自分ごと化し、働きがいを実感できるよう、各ステークホルダーに向けた発信・イベントに組み込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーパスを「託された未来をひらく」に更新</li> <li>創業100年を契機とした挑戦する企業文化づくりを推進</li> </ul>
ステークホルダー資本戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ステークホルダーに対して規律ある投資/分配を実施</li> <li>多彩な事業の横断・融合力を高め、事業ポートフォリオを強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三井住友トラストL&amp;Fを共同事業化</li> <li>日本証券代行、東京証券代行業を吸収合併</li> <li>当グループ内のクレジットカード事業を再編</li> <li>北米貨車リース事業の譲渡に進捗</li> </ul>